福田南中学校ＨＰ
二次元コード

ふくなんだより

倉敷市立福田南中学校
学　校　だ　よ　り
令和５年８月３１日
ＮＯ．９
校訓　自主・練磨・敬愛

全日本中学校陸上競技選手権大会 男子４×100mリレー優勝！

８月２２日から愛媛県松山市で開催されていた全日本中学校陸上競技選手権大会に、陸上競技部は男子 100m（　　）と男子４×100mリレー（　　、　　、　　、　　）の種目に出場しました。100mは残念ながら予選敗退しましたが、４×100mリレーは予選を全体トップの 42 秒 95 のタイムで通過しました。25 日の決勝は雨天のあいにくのコンディションでしたが、滋賀県代表の立命館守山中を 0 秒 005 差でゴール寸前かわして 42 秒 56 のタイムで優勝しました。岡山県勢として初の快挙を達成しました。全国のレベルで勝負しようという高い目標の設定と今までの地道な練習の結果だと思います。競技後のインタビューのなかで、　　選手が「みんなの思いをひとつにして、絶対に抜かしてやろうという気持ちで走った。練習してきたことを全部出し切った。」というコメントが印象的でした。よくやりました。おめでとうございました。

福田南 男子400継 中国中学新 初V

陸上男子400㍍リレーで岡山勢初の優勝を飾った福田南中。写真は1走中西、2走山田選手、3走目黒大ブランカー校長＝ニングニングスタジアム

岡山勢初の栄冠 紙一重の勝負制し歓喜

2位とは約0・005秒、まさに紙一重の勝負を制し、偉業に成し遂げられた。陸上男子400㍍リレーは42秒56の中国中学新記録を樹立した福田南中が初の頂点に。岡山勢初の快挙。「みんなの思いをひとつにして、絶対に抜かしてやろうという気持ちで走った。練習してきたことを全部出し切った」と喜びを語った。

予選（23日）で全体トップのタイムを出すなど順調さはなかった。1走の2年目中西が「緊張」で自覚するバトンパスを見せ、チームは最下位に。3走目黒が「ここは絶対に抜かせない」と気を持ったが、4走目黒大ブランカー校長が「風がつよかったけど、最後は気持ち」と力走。目黒は滋賀と岡山を十一アップ。仕上げはアンカー校長。

「やっと一枚かぶれる」。1年前は小学生の合同大会100㍍で敗戦。優勝した1年生が数年後にチームを盛り上げていく。「胸の高鳴」で栄光をもたらした。

昨年の陸上大会は2位。「ポテンシャルを考えればもっと上を目指せる」。岡部監督は数年前から高い目標を設定し、今年は全国大会で優勝できた。「仲がいい」と強調。「このメンバーならいけると思っていた」と山口。「活躍に強いた」。写真を結果のものにし、同一陸上界に新たな歴史を刻んだ。（岡山支局）

＜８月２６日付　山陽新聞より＞